

## 事前評価個表

整理番号	7
------	---

地域（地区）名	やみぞたが 八溝多賀	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	茨城県	対象市町村	ひたちし 日立市ほか5市町
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県，市町，森林組合，森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県北部に位置し、東は太平洋、北は福島県、西は栃木県に接する地域で、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町の5市1町を包括している。山地の土壌は、適潤性の褐色森林土壌が広く分布しており、スギ・ヒノキの優良な人工造林地帯となっている。</p> <p>本地区の林野率は、約68%と県平均の約31%を大きく上回っており、本県の林業生産活動の中心地域となっている。また、スギ・ヒノキ等の人工林は、間伐等保育の必要な森林が人工林面積の約13%、主伐期を迎える林分が人工林面積の約87%を占め、利用可能な森林資源が充実している。</p> <p>本地区には、5つの森林組合があるほか、多くの民間林業事業者が活動しており、高性能林業機械の導入や新規就労者の雇用を積極的に行うなど、地域の森林整備の重要な担い手となっている林業事業者もある。</p> <p>本地区は、充実した森林資源に恵まれた本県を代表する林業地帯であり、これらの意欲と能力のある林業経営体が、森林経営の集約化を進め、施業コストの低減を図りながら、資源の循環利用と健全な森林の育成を推進し、水源涵養や土砂流出防止等の森林のもつ公益的機能の高度な発揮を図っていく必要がある。</p> <p>このため、八溝多賀地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,910 ha 人工造林，下刈り，枝打ち，除伐，保育間伐，間伐，更新伐</p> <p>総事業費：2,575,528千円（税抜き 2,384,748千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=2.58</p> <p>（総便益（B）=9,506,728千円、総費用（C）=3,684,036千円）</p>
評価結果	<p>必要性：県内の林業生産活動の中心地域であるとともに、利用可能な森林資源が充実しており、資源の循環利用と健全な森林育成を推進することが求められる地域であることから事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性を活かし森林施業の効率化及び健全な森林育成を推進する事業であり、水源涵養，土砂流出防止等の機能確保、将来の優良材の安定的生産が図られることから有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 茨城県

地域(地区)名: <sup>やみぞたが</sup>八溝多賀

(単位: 千円)

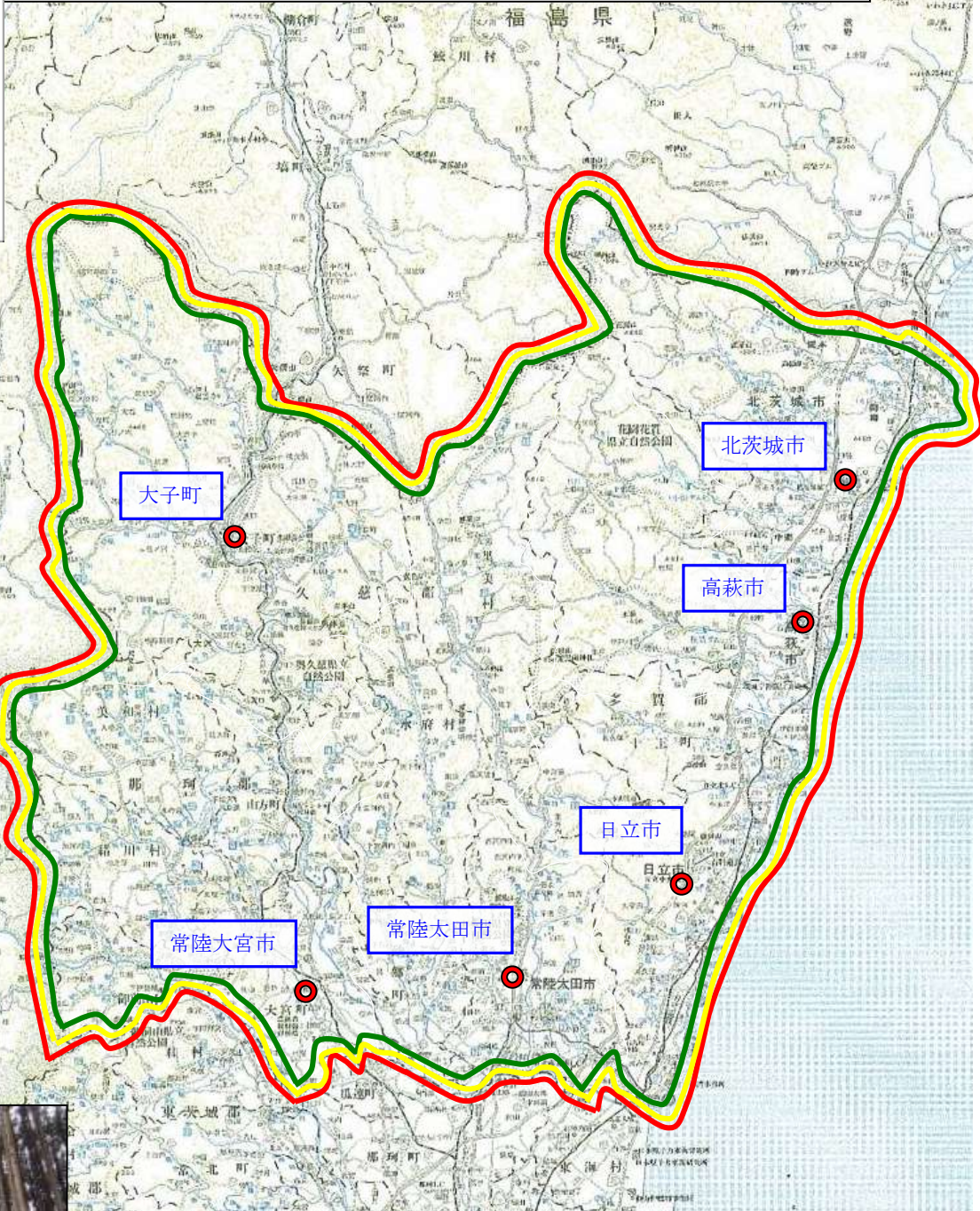
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,016,916	
	流域貯水便益	607,880	
	水質浄化便益	1,405,863	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,746,055	
環境保全便益	炭素固定便益	2,090,559	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,639,455	
総 便 益 (B)		9,506,728	
総 費 用 (C)		3,684,036	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,506,728}{3,684,036} = 2.58$		

茨城県



# 森林環境保全整備事業

## 八溝多賀地区（茨城県）概要図



大子町

北茨城市

高萩市

日立市

常陸大宮市

常陸太田市



整備前の状況



整備後の状況

凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	
市町役場所在地	